

# 平成15年住宅・土地統計調査結果 速報 の概要（要約）

## 調査の概要

**目的** 住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住宅・土地関連諸施策の基礎資料を得る。

**調査時期** 平成15年10月1日現在で実施（第1回は昭和23年、5年周期、平成15年は12回目）

**調査対象** 約16,000世帯（全国約400万世帯）

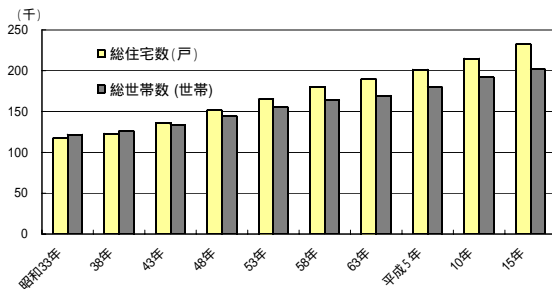
## 1 総住宅数と総世帯数

総住宅数は232,300戸

鳥取県の総住宅数は232,300戸（前回比8.1%増）

総住宅数が総世帯数201,800世帯を30,500上回る

図1 総住宅数及び総世帯数の推移（昭和33年～平成15年）



## 2 居住世帯の有無

総住宅数の12.9%が空き家

総住宅数232,300戸のうち、居住世帯のある住宅の数は200,800戸（総住宅数の86.4%）

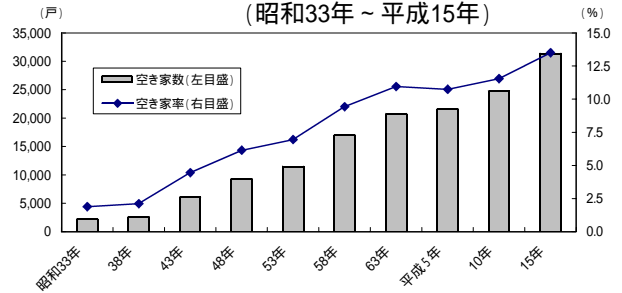
空き家は30,000戸（前回比29.9%増）

空き家率12.9%は全国第22位(全国12.2%)

1 ふだん人が住んでいる住宅

2 総住宅数に占める割合

図2 空き家数及び空き家率の推移（昭和33年～平成15年）



## 3 建て方、構造

共同住宅の割合が増加

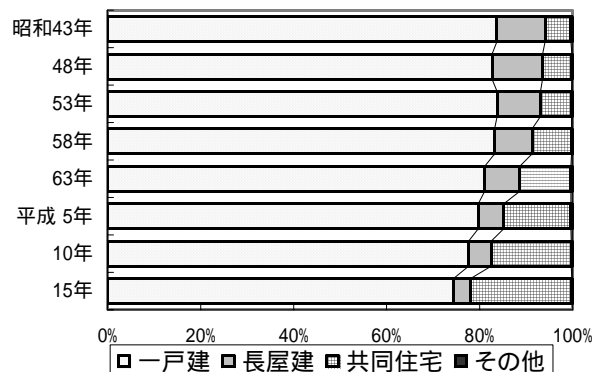
建て方別住宅数は、「一戸建」が149,300戸（74.4%）、「長屋建」が7,400戸（3.7%）、「共同住宅」が43,800戸（21.8%）、「その他」が400戸（0.2%）

「共同住宅」は前回比33.9%増

一戸建率74.4%は全国第17位(全国56.5%)

共同住宅率21.8%は全国第35位(全国40.0%)

図3 住宅の建て方別割合の推移（昭和43年～平成15年）



## 非木造化が進む住宅の構造

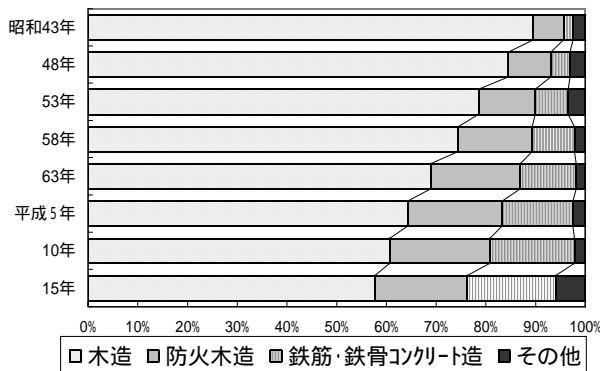
住宅の構造別では、木造は115,700戸（57.6%）、防火木造は37,300戸（18.6%）、非木造は47,700戸（23.8%）

前回比は、木造0.4%増、防火木造2.6%減、非木造30.7%増、

木造率<sup>3</sup>76.2%は全国第15位（全国61.4%）  
非木造率23.8%は全国第33位（全国38.6%）

### 3 防火木造を含む

図4 住宅の構造別割合の推移  
(昭和43年～平成15年)



## 4 住宅の規模

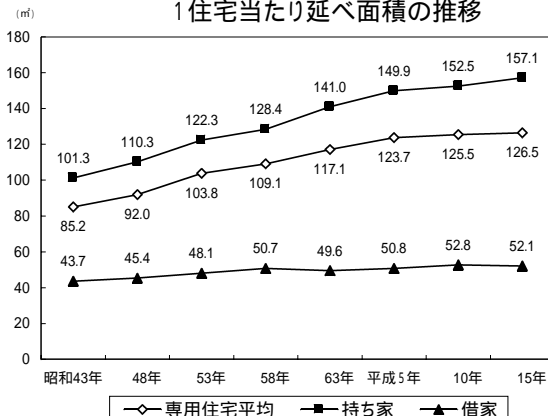
専用住宅の1住宅当たり延べ面積は126.45㎡に増加

「専用住宅<sup>4</sup>」の1住宅当たり居住室数、居住室の畳数及び延べ面積<sup>5</sup>は、それぞれ6.00室（前回比0.15室減）、39.47畳（前回比0.24畳増）、126.45㎡（前回比0.98㎡増）

### 4 居住専用に建設された住宅

### 5 居住室のほか玄関、トイレ、台所などを含めた住宅の床面積の合計

図5 専用住宅の持ち家・借家別にみた1住宅当たり延べ面積の推移



## 5 所有の関係

持ち家住宅率は70.3%に減少

住宅の所有の関係別では、持ち家が141,200戸で、持ち家住宅率<sup>6</sup>は70.3%、借家は56,900戸、28.3%

持ち家住宅率70.3%は全国第17位（全国61.2%）で低下傾向

### 6 住宅全体に占める割合

## 6 設備

手すりがある住宅が3割以上

高齢者や身体障害者などに配慮した設備のある住宅は、90,500戸（45.1%）

表1 高齢者等に配慮した設備の住宅全体に対する割合

手すりがある 36.7%	階段	22.8%
	トイレ	19.6%
	浴室	17.3%
	廊下	5.9%
またぎやすい高さの浴槽		19.8%
廊下などが車椅子で通行可能		15.4%
段差のない屋内		12.7%
道路から玄関まで車椅子で通行可能		9.6%